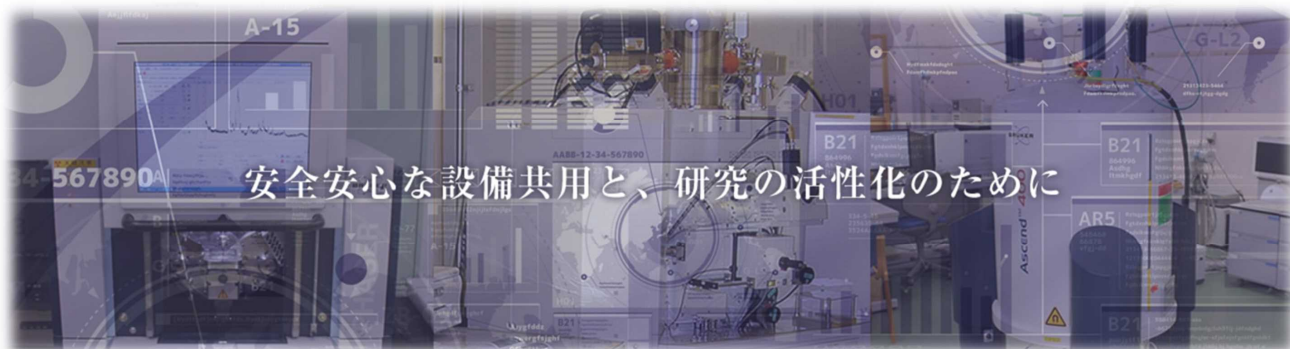


設備共用の方針

2024年3月 ver1.0



経営戦略への位置づけ



第3期(H28-R3年度)

中期目標

2-(2) ・研究の質を向上させるとともに、社会からの要請等に柔軟に対応できる研究支援体制を構築する。

中期計画

【34】 研究の基盤的な環境を充実させるため、**共同研究スペースの十分な確保、学内共同利用施設の統廃合及び大型・中型機器等の研究設備の計画的整備**を行う。

第4期(R4-R9年度)

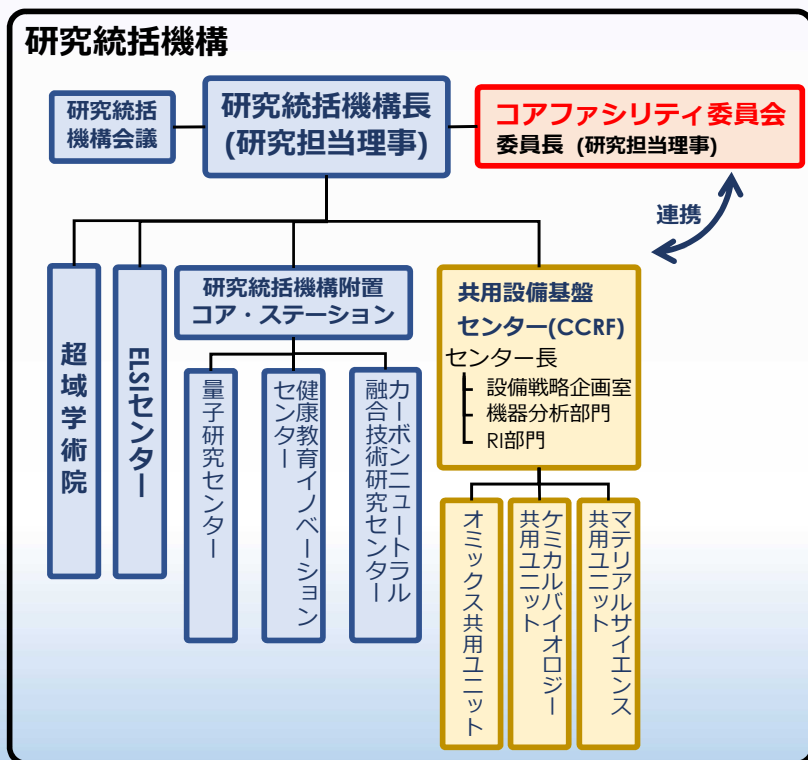
中期目標

4. その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項に関する目標を達成するための措置

中期計画

【18-2】 **(研究設備と人材のコアファシリティ化)** 設備リモート化の推進、研究設備マネジメントサイクルの導入。新潟研究基盤ネットワークを構築し、地域研究環境を強化。

第3期から中期目標・中期計画に掲げ、戦略的に設備共用を推進



統括部局：

コアファシリティ委員会

委員長： 理事・副学長(研究担当)
 CCRFセンター長
 CCRF副センター長
 CCRF機器分析部門長
 CCRF機器分析副部門長
 設備マネジメント担当教員

連携機関：

研究統括機構 共用設備基盤センター
 (Center for Coordination
 of Research Facilities, CCRF)

センター長： 兼務教員
 兼務教員： 4名
 専任教員： 4名
 技術職員： 3名
 特任専門職員： 2名
 事務職員： 3名

共用の方針(範囲・設備選定, インセンティブ)

共用対象設備	導入価格10,000千円以上を目安とした教育・研究設備			
導入財源	大学に裁量権がある予算 (運営費交付金, 補助金など)		個人に裁量権がある予算 (科研費など)	
共用の判断	原則共用 (管理者が最終判断)		管理者が判断	
設備カテゴリ	共用に適切な設備 ▼ 共用設備	共用に不適切な設備 ▼ 機能強化設備	共用可能な設備 ▼ 共用設備	共用不可な設備 ▼ 個人管理設備
利用料金徴収業務	CCRF	—	CCRF	—
設備維持運営費	○		×	

共用の方針(見える化・予約管理システム, プロセス)



共用設備の見える化

研究設備の一元管理

(検索・予約・課金・集計)

オンライン予約管理システム
オフאלス

OFaRS II

URL

<https://facilities-ap.irp.niigata-u.ac.jp/niigataequipmentdb/user/loginForm>



共用化のプロセス

設備共用の判断
(設備管理者)

共用設備の登録申請
(設備管理者→CCRF)

CCRF運営委員会での承認
(CCRF)

OFaRS IIに登録完了
共用化(予約受付)開始

【登録時必要事項】

<https://www.irp.niigata-u.ac.jp/business/ccrf/ccrf-analysis/reserve/>

CCRF運営委員会(メール審議)
開催時期： 随時

登録時期： 4半期ごと(1, 4, 7, 10月)



共用の方針(内部規程)



規程・要項

機器登録・機器利用

新潟大学研究統括機構共用設備基盤センター機器分析部門における機器登録及び登録機器の利用に関する細則

学内利用料金

新潟大学研究統括機構共用設備基盤センター機器分析部門登録機器の利用に係る経費に関する取扱要項

学外利用料金

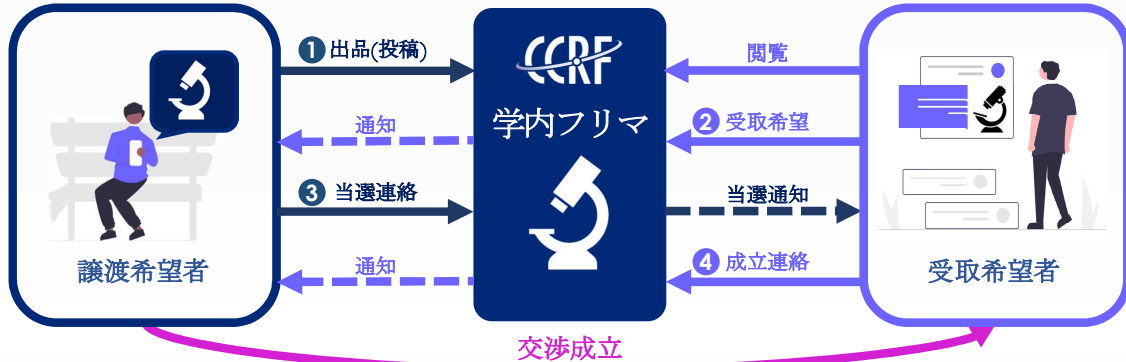
国立大学法人新潟大学研究統括機構共用設備基盤センター機器分析部門登録機器に係る利用料金細則

共用の方針(不要設備の利活用)



学内フリマ

機器などの譲渡したいものを公開し学内で情報を共有するオンライン掲示板。
 出品(投稿)した物品に譲渡希望申込みがあると、学内フリマシステムから出品者へ通知される。
 その後システム経由で譲渡希望者へ当選連絡を行い、譲渡希望者から成立通知が届いたら取引完了。
 物品の受け渡し方法を両者で相談。



5 物品譲渡

※受け渡し方法は両者で相談



URL

<https://instr-svr1.sc.niigata-u.ac.jp/kiki/disuse/list.php>

※学内LAN接続限定公開



設備整備の考え方(設備マスタープラン)



基本的な考え方

設備マスタープランは、本学における教育・研究活動に資する設備を戦略的に整備するための基本計画。設備に関する様々な情報を統括部局へ集約し、総合的な観点から設備の導入計画を策定する。

